

令和8年5月

## 市長定例記者会見次第

1. 日 時：令和8年5月19日（火） 14:00 ～ （約1時間）
2. 場 所：第一本庁舎4階 405会議室
3. 出席者：市長、関係課長ほか
4. 案 件
  - (1) クーリングシェルターの開設について (資料番号1)
  - (2) 金沢城北市民運動公園遊具広場の供用開始について (資料番号2)
  - (3) 「木の場-KINOBA-」の設置と「能登応援DAY」イベントの実施について (資料番号3)
  - (4) 木育インストラクター養成講座 i n かなざわの参加者の募集について (資料番号4)
  - (5) 令和8年度金沢市職員採用候補者試験の実施について  
～金沢の未来をあなたの手で～ (資料番号5)
  - (6) 「金沢の庭園文化」小冊子について (資料番号6)
  - (7) 金沢湯涌江戸村魅力発信動画の公開について (資料番号7)

## 市長定例記者会見資料

## クーリングシェルトアの開設について

本格的な暑さの訪れが年々早まっていることを踏まえ、クーリングシェルトアについて、前年度より1か月前倒しし、また、施設数を80増加させ、来月1日から開設する。

1. 概要 気候変動適応法に基づき、熱中症による健康被害の発生を防止するため、一定の基準を満たす施設を「指定暑熱避難施設」(クーリングシェルトア)として市長が指定

2. 指定状況 全137施設(令和8年5月15日時点) ※前年比 80施設増  
(内訳)

金沢市関係 28施設 ⑨金沢ふるさと偉人館

石川県関係 13施設 ⑨石川県立歴史博物館、石川県立美術館、  
石川県政記念しいのき迎賓館(予定)

民間等協力施設 96施設 ⑨金沢市内の76郵便局  
(5月13日 日本郵便株式会社と協定締結)

※民間等協力施設は、随時受付中

3. 開設期間 令和8年6月1日(月)から9月30日(水)まで  
※前年度は7月1日から設置

4. 周知方法 のぼり旗の設置、ホームページへの掲載、シェルトアマップの配布、  
ふらっとバスのバス停での掲示(6月下旬から)等

## 【参考】

指定暑熱避難施設(クーリングシェルトア)の指定要件(気候変動適応法第21条)

- ・冷房設備を有し、適切に維持管理及び稼働すること
- ・熱中症特別警戒情報の発表時は、開放可能日及び時間帯において、指定箇所を市民等に開放すること
- ・受入可能人数に応じて、一人あたりの空間を適切に確保すること
- ・開館又は営業時間中は、利用者が自由に出入り可能とすること
- ・指定箇所が無料で利用可能であること
- ・熱中症予防のため、利用者が持ち込む飲料等による水分補給を可能とすること

## 金沢城北市民運動公園遊具広場の供用開始について

「金沢市夢ある公園再生・活用計画」に基づき、金沢城北市民運動公園の金沢スタジアム東側において整備を進めてきた遊具広場の完成に伴い、供用を開始する。

## 1. 整備概要

- ・整備コンセプト ～誰もが楽しめる居心地の良い遊び場～
- ・広場を対象年齢に応じて3つのエリアに区分
- ・インクルーシブ機能を有した遊具を設置

## (1) わいわいエリア (対象年齢：3歳～)

スプリング遊具、トランポリン遊具、  
みかづきすべり台、クライム遊具

## (2) よちよちエリア (対象年齢：0～3歳)

お花のすべり台、葉っぱのベンチ

## (3) のんびりエリア (対象年齢：3歳～)

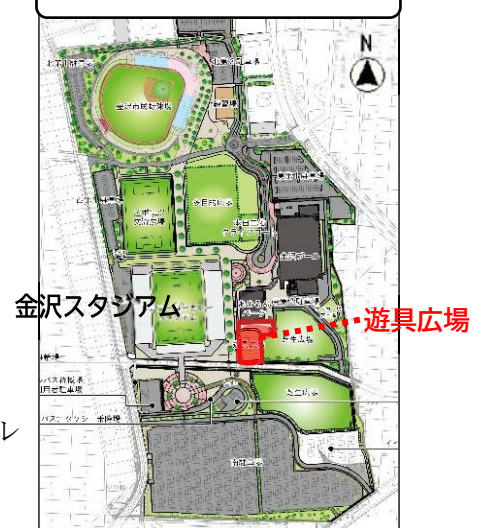
こもりブランコ、スツール遊具

## (4) みまもりスポット

みまもりベンチ、くねくねベンチ、休憩所、ミストポール

※下線・・・インクルーシブ遊具

金沢城北市民運動公園全体図



## 2. 完成セレモニー

令和8年5月27日(水) 午後2時～



インクルーシブ遊具



スプリング遊具



トランポリン遊具



こもりブランコ

木の文化都市・金沢  
ki no bunkatoshi kanazawa

## 市長定例記者会見資料

## 「木の場-KINOBA-」の設置と「能登応援 DAY」イベントの実施について

「木の文化都市・金沢」の実現に向け、学生提案を基に製作した憩いの空間「木の場-KINOBA-」を、今年度から金沢駅東広場に常時設置します。

併せて、木の場を活用した「能登応援 DAY」イベントを開催し、金沢駅を利用する多くの市民・来街者の方々に対し、「木の文化都市・金沢」の普及啓発と能登を応援する機運の醸成を図ってまいります。

## 1. 設置日

令和8年5月23日(土)

## 2. 「能登応援 DAY」イベント（5日間限定）

5/23、6/27、7/11、8/8、9/12の各土曜日

※「金沢もてなし隊」の協力のもと、各日10時～12時

## 3. 開催場所

金沢駅東広場（地上部）「木の場-KINOBA-」周辺



R7 イベントの様子

## 4. 内 容

- ①加賀棒茶のふるまい（各日 300 杯を提供）
- ②奥能登「しおサイダー飴」の配布
- ③「がんばろう！能登半島」のステッカーの配布
- ④能登応援啓発チラシの配布（下記のリンク先QRコード等の掲載）
  - ・今行ける能登の観光地等の紹介 …石川県観光連盟
  - ・金沢で能登支援ができる体験プランの紹介 …金沢市観光協会
  - ・金沢-能登間の道路通行状況（奥能登2市2町の通れるマップ）…石川県
- ⑤募金箱の設置

お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて被災された方々にお届けします。





金沢市ではまちなみや生活に「木」を取り入れ  
歴史と調和した金沢ならではの  
魅力ある都市を目指しています



▶詳しくはこちら



“木の場-KINOBA-”とは？  
金沢で建築を学ぶ学生提案を元に  
新しい木質系材料（CLT）を用いて  
制作した交流拠点施設です

## 木の場 -KINOBA- 能登応援DAY

R6.1.1に発生した能登半島地震は人々の生活を大きく変えました。  
能登の復旧・復興にはみなさまからの継続的な支援が必要です！  
私たち一人一人ができることから能登を応援しましょう！

### 能登の今を知る！

復旧工事が進んでいます  
珠洲市、輪島市、能登町、穴水町への  
アクセスも確保されています

▶詳しくはこちら



### 能登を支援する！

能登の品をお買い物することも  
支援に繋がります



本日募金していただいたお金は  
「令和6年能登半島地震災害義援金」として  
日本赤十字社を通して能登に送ります

### 今行ける能登！



©ほっと石川旅ねっと

営業を再開している  
名所や施設に行ってみよう！



▶詳しくはこちら

### 金沢観光で能登支援！



金沢観光を楽しみながら  
能登への支援ができる  
体験プランを紹介！



▶詳しくはこちら

## 市長定例記者会見資料

## 木育インストラクター養成講座 in かなざわ の参加者の募集について

金沢市は令和8年1月14日に東京おもちゃ美術館を運営する認定NPO法人芸術と遊び創造協会とウッドスタート宣言を行い、広く市民の木育等に関する意識向上に向けた取組を協力しながら進めていくこととしています。本事業は、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む『木育』の伝え手であるインストラクターを養成するため、芸術と遊び創造協会より公認講師を招き講座を開催するもので、併せて、今年10月オープン予定の金沢もりづくりベース東浅川の開所に向けた機運の醸成を図ります。

## 【開催概要】

1. 開催日時 令和8年6月28日（日）10：00～16：15（受付9：30～）
2. 場 所 金沢市役所第二本庁舎 3階 2301会議室（金沢市柿木畠1番1号）
3. 参加者 30名（16歳以上の金沢市に在住、在学又は在勤の者）  
※ 参加者募集は令和8年5月26日（火）より金沢市電子申請サービスにて受付
4. 内 容 木育概論、木育プログラム体験、木育プログラム企画・開発  
講師：福島 計一 氏

## 【ウッドスタート宣言とは】

木材、特に地域材を活用した子育て、子育て環境の整備をし、子どもをはじめとする全ての人たちが、木のぬくもりを感じながら、楽しく豊かに暮らしを送ることができるようにしていく取組。

※「ウッドスタート」は登録商標（登録第5597730号）

## 【福島 計一 氏 略歴】



神奈川県大和市に生まれる。

環境教育に携わった後、岐阜県立森林文化アカデミーに入学し木工を学ぶ。在学中に

【共育工房IPPPO（いっぽ）】を立ち上げ以来、環境教育で培った「伝え手」としての経験に、「作り手」の経験を加え、「日本型の環境教育＝木育」を、岐阜県にとどまらず全国で実践。幼稚園・保育園・小学校での木育指導、指導者等への環境教育・木育研修、子ども、親子向け等のワークショップ等幅広く活動している。

環境省エコインストラクター認定NPO法人芸術と遊び創造協会「木育インストラクター養成講座」公認講師、環境教育プログラム「プロジェクト・ワイルド」エデュケーター、木育・森育コーディネーター、日本環境教育学会会員

木々木

Kanazawa Forestry Base, Higashi-Asakawa

金沢もりづくりベース東浅川

10月オープン・プレイベント第1弾

**T** 東京おもちゃ美術館 運営 NPO法人  
「芸術と遊び創造協会」協同事業

# 木育インストラクター 養成講座 in かなざわ

テキスト料  
受講料

無料

人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む  
“木育”の伝え手育成講座を、  
東京おもちゃ美術館を運営する  
「芸術と遊び創造協会」が、  
県内ではじめて開催します！

**6月28日** 日  
10:00～16:15 (受付9:30～)



「芸術と遊び創造協会」公認講師



環境教育に携わった後、  
岐阜県立森林文化アカデ  
ミーで木工を学び、幼  
児・小学生への木育指導、  
指導者への環境教育等を  
全国で実践。  
共育工房IPPOを主宰

福島 計一氏

会場

金沢市役所 第二本庁舎  
3階 2301会議室 (金沢市柿木島1-1)

定員

30名 (応募者多数の場合は抽選)

応募条件

16歳以上で、金沢市に在住、  
在学又は在勤の方 など

申込方法

金沢市電子申請サービスより  
お申込みください。

<https://ttzk.graffer.jp/city-kanazawa/smart-apply/apply-procedure-alias/R08-MokuikuInstructorKANAZAWA>



申込期間：5月26日(火)～6月5日(金)

注意事項

- 駐車場には限りがございますので、公共交通機関での来場をお勧めします。なお、第二本庁舎 地下駐車場は有料です。
- 当日の昼食は各自でご準備ください。

## 当日スケジュール

9:30 受付

10:00 講義 (木育概論)

12:00 昼休憩

13:00 木育プログラムの体験  
木育プログラムの企画・開発

16:00 芸術と遊び創造協会公認  
木育インストラクター認定証交付

16:15 終了



◎お問い合わせ先

金沢市役所 農林水産局 森林再生課

Tel : 076-220-2217 Fax : 076-222-7291

Mail : nourin\_mori@city.kanazawa.lg.jp

## 令和8年度金沢市職員採用候補者試験の実施について

### ～金沢の未来をあなたの手で～

金沢市職員採用候補者試験（令和9年4月採用予定）を実施します。  
市職員として市政発展に力を尽くす意欲のある方を広く募集します。

#### 1. 申込受付を開始した試験区分

- (1) 大学卒業程度（一般区分A）〔事務、事務（社会福祉）、事務（心理）、  
事務（埋蔵文化財）、司書、土木、建築、機械、電気、農業、林業、造園、消防士〕
- (2) 獣医師、薬剤師、保健師、管理栄養士
- (3) 保育士
- (4) 職務経験者〔事務、事務（情報）、事務（社会福祉）、事務（心理）〕
- (5) 中途採用者（就職氷河期世代）〔事務〕

⇒ 【受付期間】（1）～（4）5月28日（木）17時まで、（5）6月30日（火）17時まで

#### 2. 試験の特徴

##### ➤ 試験方法等の見直し

多様で優秀な人材の確保を図るため、以下のとおり試験方法等を見直し

〔消防士〕 ○ 東京・京都会場での遠隔地受検を実施

○ 体力測定の実施時期を1次試験から2次試験に変更

○ 身体要件（身長、体重、肺活量、握力等）の廃止

〔保育士〕 ○ 実技試験「音楽（電子ピアノを演奏しながらの歌唱）」の廃止

- 「事務（社会福祉）」、「事務（心理）」、「事務（埋蔵文化財）」の試験を実施
- 多様な技術職（土木、建築、機械、電気、農業、林業、造園）の試験を実施
- 職務経験者（事務、事務（情報）、事務（社会福祉）、事務（心理））、  
中途採用者（就職氷河期世代）の試験を実施
- 金沢・東京・京都の計3会場で、教養等の筆記試験を開催

#### 3. 情報発信について [公式サイト、SNS]

- ・ 金沢市職員採用サイト (<https://kanazawa-saiyou.jp/>) に試験案内を掲載
- ・ 上記ほか、Instagram、X等で採用に関する情報を発信  
(試験情報、業務紹介、若手職員インタビュー など)

#### 《今後募集予定の試験区分》

- (1) 職務経験者（長期間募集）〔土木、建築、機械、電気、獣医師〕
- (2) カムバック採用（復職制度）〔土木、建築、機械、電気〕
- (3) 短大、高校卒業程度〔事務、土木、建築、機械、電気、消防士〕
- (4) 事務（手話）
- (5) 障害のある方〔事務〕

## 「金沢の庭園文化」小冊子について

藩政期から明治、大正、昭和の各時代につくられた歴史的庭園は、建造物や自然環境、茶道などの伝統文化と密接に関連しながら、金沢特有の庭園文化として今日まで継承されてきました。

このたび、その魅力に触れ、より深く知っていただくための小冊子を作成いたしました。多くの方々に手に取っていただき、まちなかに残る歴史的庭園を巡り、「金沢の庭園文化」の魅力を一層身近に感じていただければ幸いです。

### 1. 小冊子の概要

- ・ A5判 16ページ 中綴じ
- ・ 金沢の庭園文化にみられる特徴及び主な歴史的庭園を写真付きで紹介（10庭園）
- ・ 「最大大名が築いた城下町の庭園回廊」を体感し巡っていただくための庭園回遊マップを掲載
- ・ 二次元コードで各庭園の詳細HP・紹介動画へリンク
- ・ 国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット（UNU- IAS OUIK）制作動画「めぐるにわ かなざわ」を併せて紹介



### 2. 紹介する庭園

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| ・ 兼六園（国特別名勝） | ・ 成巽閣庭園（国名勝）      |
| ・ 寺島蔵人邸（市史跡） | ・ 西田家庭園「玉泉園」（県名勝） |
| ・ 玉泉院丸庭園     | ・ 尾山神社庭園（県名勝）     |
| ・ 千田家庭園（市名勝） | ・ 武家屋敷跡野村家        |
| ・ 西氏庭園（国名勝）  | ・ 松風閣庭園（市名勝）      |

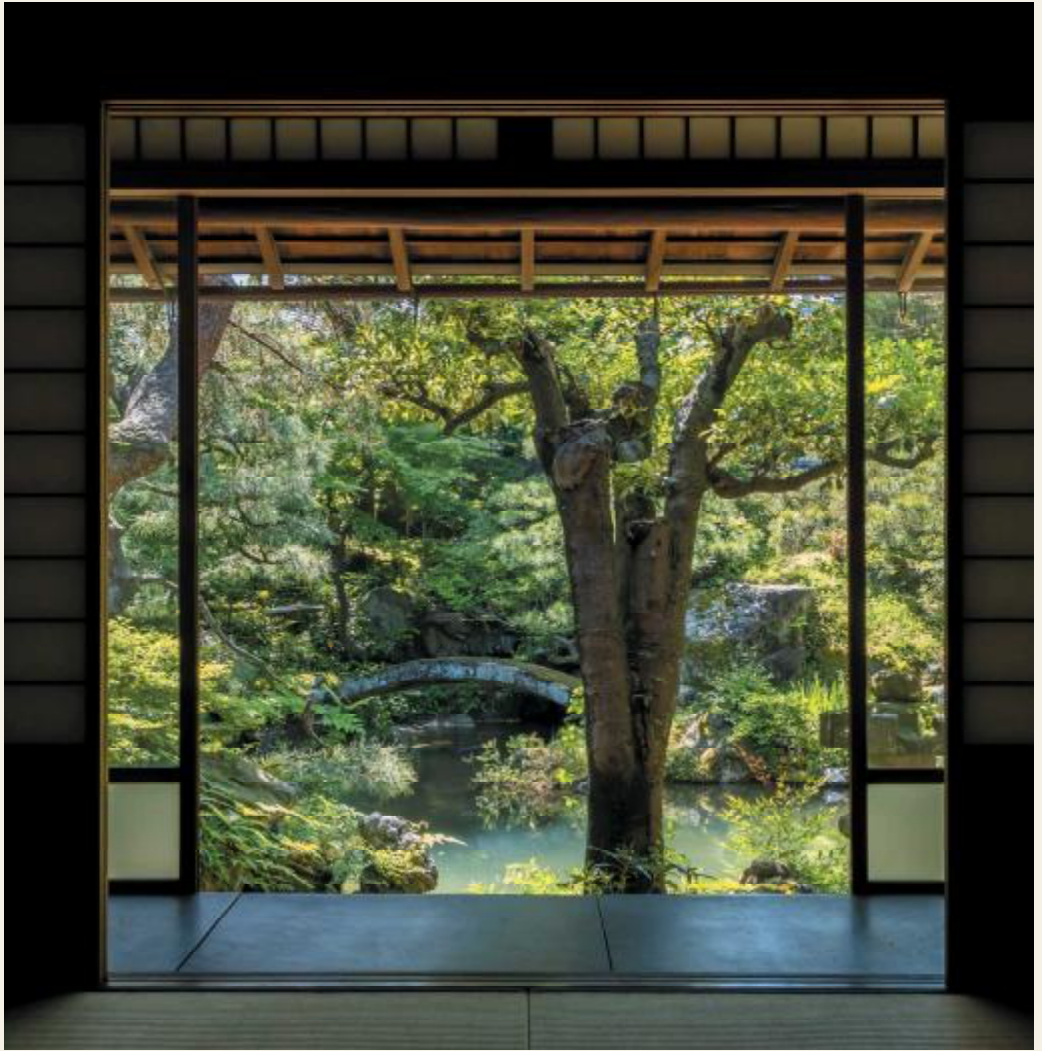


全 10庭園

【小冊子「金沢の庭園文化」】

### 3. 小冊子の配布

文化財保護課のほか、市内の主要文化施設や観光案内所で配布予定、市HPに掲載



Kanazawa Garden Culture:  
A Stroll in a Castle Town

金沢の  
庭園文化  
歩いてめぐる

# 金沢のまちの姿

Kanazawa City



## 水と緑に 抱かれたまち

Characteristics of the City

現在の金沢の中心市街地は、元来の自然環境を素地として広がり、同時に、藩政期に形成された都市の基本的な性格を色濃く受け継いでいます。

このまちの姿をつぶさに観察すると、起伏に富んだ地形を背景に、水と緑が織りなす都市空間が形成され、そのなかで、気候風土に対応した多彩な文化が息づいていることがわかります。

## 地形に寄り添う 城下町

Castle Town

加賀・能登・越中を領地とした最大大名・加賀藩主前田家は、3つの丘陵・台地（卯辰山・小立野台地・寺町台地）の間を2つの河川（浅野川・犀川）が流れるこの地の地勢を巧みに読み取り、両河川に挟まれた小立野台地の先端の城郭を中心とする、同心円状の城下町をつくり上げました。

## 金沢の自然

Natural Environment

### 一 浅野川



### 一 犀川



### 一 冬の深雪



金沢は、白山山系から連なる山々を南東に背負い、西には日本海の海岸が広がります。冬季には、海を越えてやってくる季節風が水蒸気を多く含んだ厚い雲をつくり、これが山脈にぶつかって上昇し冷やされることで、大量の雪が降ります。雪解け水はやがて山地から続く清冽な河川となって、下流に広がる平野を潤します。

この水に恵まれた自然環境が、都市の基盤を成しています。



上から：茶室と露地 / 和菓子 / 加賀蒔絵

冬場に曇天が続くことで昼間でも薄暗く、湿り気のある重い雪がしんしんと降り積もる北陸の気候は時に陰鬱と評されることもありますが、このまちの人々を内業への集中に導きました。能や生け花などの屋内で行われるたしなみが生活のなかに根づき、加賀蒔絵や金箔などの高度な工芸技術が花ひらいたその背景には、藩政期以来の振興策に

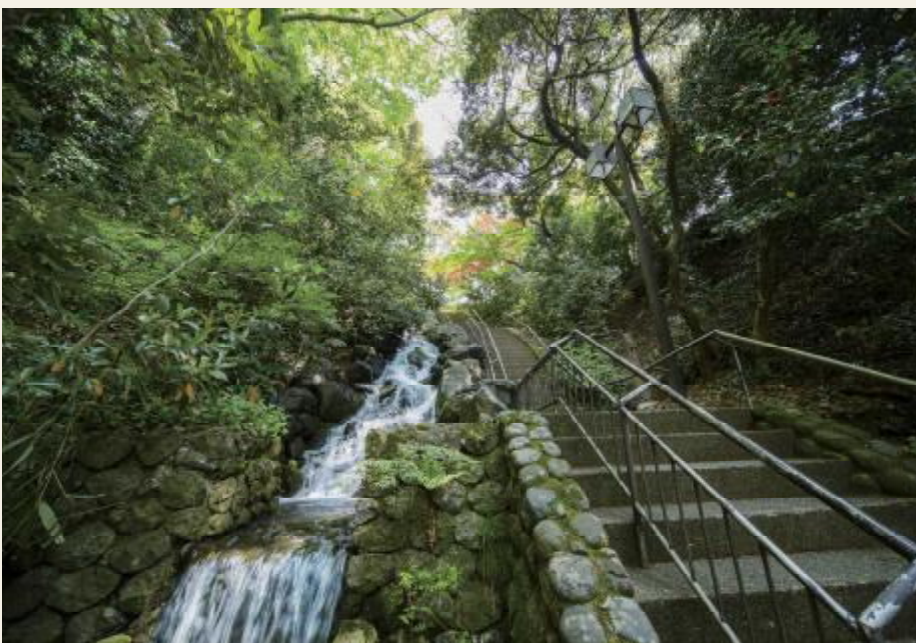
加え、こうした気候も関係しています。なかでも茶道の隆盛は、一期一会の精神のもとに客人をもてなす場を重視し、美しく設えようとする価値観を育み、質の高い茶室建築や露地(茶庭)を生み出したほか、茶道具や掛け軸、懐石や和菓子などへのこだわりが、美術工芸、食文化などの発展にもつながりました。

## 伝統文化

Traditional culture

## 水と緑が織りなす都市空間

Water and Greenery



辰日用水(分流)

豊富な木々がつくる緑がまちの全体に行き渡る様子を指して、金沢は古く「森の都」とも形容されてきました。城跡を中心に広大な緑地を抱え、これを取り巻く庭園が旧武家地に多く集まっています。緑辺の丘陵などにも藩政期以来の寺院群や墓所の樹林があり、台地の緑に連なる斜面緑地とともに、現在も豊かな緑量を保っています。



上：金沢城・兼六園の緑  
左：台地の緑の樹林

こうした多様な緑のあいだを縫うように、浅野川や犀川を利用する用水が天然の地形を生かして町中に張りめぐらされ、藩政期から現在まで、都市生活の様々な場面で活用され続けています。



大野庄用水

## 動画「めぐるにわかなざわ」

金沢市のパートナーである、国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット (UNU-IAS OUIK) では、金沢の庭園にみられる自然と文化のつながりにフォーカスした「めぐるにわかなざわ」動画シリーズを制作しました。ぜひご覧ください！



- Chapter 1 — 水がめぐるまち かなざわ
- Chapter 2 — 職人の暮らしと庭園
- Chapter 3 — 人と人をつなぐ庭園
- Chapter 4 — 文化と自然：金沢の未来





雪吊りの代表的な技法である「りんご吊り」は、雪の重みで庭木の枝が折れないよう芯となる柱を立て、その先端から下ろした縄で細やかに枝を吊っていきます。バランスを意識し放射状にめぐらせた縄が、円錐形の幾何学模様を描きます。

雪吊りの技法は他に「幹吊り」「竹又吊り」「しぼり」などがあり、どの技法を使うかはその木の特徴や樹形を見定めて決めます。

## 一 雪吊り Yukitsuri



雪国の知恵 実用の領域を超えた美しさ  
Snow Country Wisdom

長町武家屋敷跡の薦掛け

細い小路や用水に沿って並ぶ土塀に、12月初旬から3月中旬にかけて、約500枚の薦が取り付けられる。



動画公開中



## 一 薦掛け Komokake

今日では金沢の冬の風物詩となっている「雪吊り」・「薦掛け」は、この地方に特有の重く湿った雪から庭木や土塀などを保護するために編み出された技術であり、まさに雪国の知恵の結晶といえます。  
長い年月を経て確立された多彩な技法、細部にまで気を配った意匠には、実用性だけではない景色としての美しさが追求されており、金沢の庭師が受け継いできた美意識が、職人の技巧として表れています。

土塀の薦掛けは、水分が浸透し水結することによる損傷や、付着した雪で土が剥がれるのを防ぐ目的で行われるもので、庭師によりその伝統技術が継承されてきました。稲わらを丁寧に編んで作られた

薦の上下の辺に1本ずつ竹を結び付け、土塀の腕木から垂らした縄で吊り上げて設置します。



兼六園の雪吊り

日本三名園のひとつに数えられる兼六園では、毎年11月1日から園内約800か所の木々の雪吊り作業が始まり、12月中旬までに冬支度を整える。



詳細はこちら

**武家屋敷 寺島藏人邸**  
Samurai Residence  
Kurando Terashima's House

代々450石の知行を有した加賀藩士寺島氏の屋敷跡。邸宅と庭園の一部が保存され、武家屋敷の佇まいを今に伝えている。

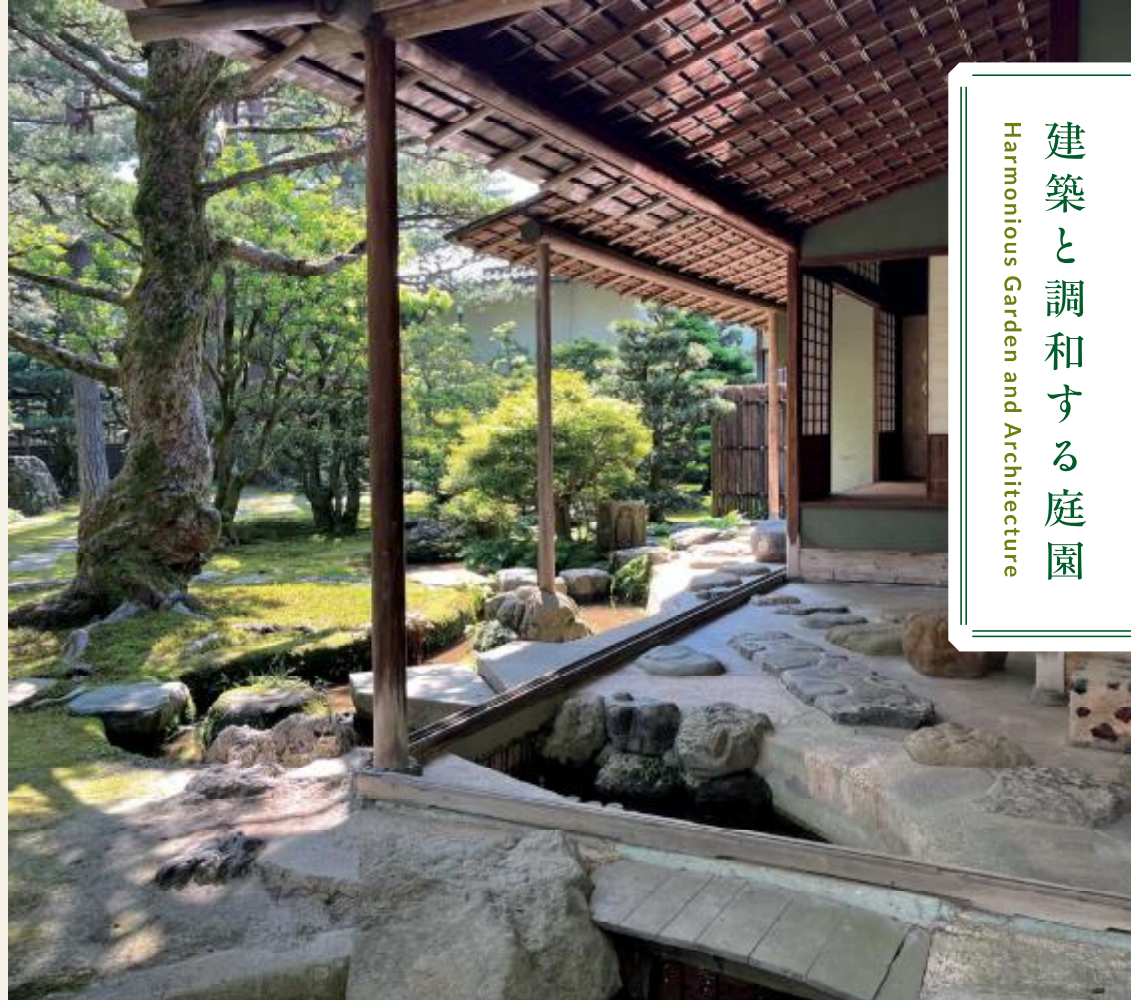
「金沢市指定史跡」

金沢市大手町10-13  
076122412789  
(武家屋敷 寺島藏人邸)

上：座敷から土縁越しに臨む秋の庭 下左：冬の庭。雪吊りのほか、凍雪を防ぐため藁を掛けた石灯笼、赤みを帯びた景石が雪化粧のアクセントとなる 下右：一間幅の空間の外半分を土間、内半分を板縁としている

## 建築と調和する庭園

Harmonious Garden and Architecture



主庭(飛鶴庭)の土縁。辰巳用水から導いた流れを引き込む

金沢では藩政期から、武士住宅や町家に「土縁」と呼ばれる土間の縁側空間を設けるのが一般的でした。外周に立てる板戸を開閉することで、屋外空間にも屋内空間にもでき、雪により庭先に出られない冬の貴重な明かり取りとなるほか、茶道が盛んな金沢では、飛石や小灯笼、手水鉢などを設えることで露地の役割をもたせた事例が多くみられます。

このような建物と庭の境界をあいまいにする軒内の庭には独特の風情があり、建築と庭園の融合が図られているといえます。

### 成巽閣庭園

Seisonkaku Garden

加賀前田家13代斉泰が、母である真龍院のため文久3年(1863)に造営した巽御殿(後の成巽閣)に備わる庭園。主庭や2つの中庭はそれぞれ趣が異なり、優美な建築と調和する。「国指定名勝」

金沢市兼六町1-2  
076122110580  
(成巽閣)



詳細はこちら

# 水系を生かした作庭

## Channel-Based Garden Design



近接する兼六園から導き入れた水が、園内2か所の池泉を満たす



上:園内最大の池泉「露ヶ池」に向かう曲水  
下:露ヶ池から下段の「瓢池」に流れ落ちる「翠滝」

### 兼六園 →

Kenrokuen Garden

加賀前田家が金沢城の外郭に築いた林泉回遊式の大名庭園。5代綱紀による作庭以降、歴代当主が整備を重ねてきた。辰巳用水の流れを取り入れ、多彩な水の意匠に生かしている。「特別名勝」

📍 金沢市兼六町  
☎ 076123413800

(石川県金沢城・兼六園管理事務所)



詳細はこちら

### 尾山神社庭園 ↓

Oyama Jinja Shrine Garden

現況の庭園は慶応2(明治2年(1866)69)、加賀前田家13代斉泰の隠居に伴い整えられた。雅楽の楽器や装束をかたどった中島、石造アーチ橋などの斬新な意匠が特徴。「石川県指定名勝」

📍 金沢市尾山町11-1  
☎ 076123117210

(尾山神社)



詳細はこちら

中心市街地には、城下町の形成に深く関わった辰巳用水や大野庄用水などにゆかりのある庭園が集中しています。水系と一体となった巧みな造園手法は江戸、明治、大正、昭和の各時代の庭園にみられ、池泉や滝、曲水などの水の意匠に生かされました。

### 西田家庭園(玉泉園) ↑

Nishida Family Garden  
Gyokusen-en

加賀前田家2代利長の近侍となった脇田直賢が江戸時代初期に着工、その後脇田家4代の頃に完成したと伝わる庭園。台地の縁の自然傾斜を生かした空間構成が特徴。「石川県指定名勝」

📍 金沢市小将町8-3  
☎ 076122110181

(西田家庭園保存会)



詳細はこちら

### 玉泉院丸庭園 →

Gyokusen'imaru Garden

加賀前田家3代利常による作庭を始まりとし、廃藩時まで存在した。意匠性の高い石垣群を庭の構成要素とする独自の庭園であったと考えられ、平成27年に再現された。「国指定史跡(金沢城跡)内」

📍 金沢市丸の内(金沢城公園)  
☎ 076123413800

(石川県金沢城・兼六園管理事務所)



詳細はこちら



池泉の水源は、藩政期には城内二の丸まで引かれた辰巳用水を利用していた



辰巳用水を水源としていた池泉。鏡のような水面が静かに広がる



池泉に架かる反橋の底面には、時に陽の光が水面の移ろいを映して印象深い

### 西氏庭園 ↓

Nishi-shi Garden

武家屋敷跡地に大正時代に造営された住宅庭園。回遊性を備えた立体的な空間構成をもち、大野庄用水の清流を生かした水景や、県内外の様々な石材を配した意匠が優れている。「国指定名勝」

📍 金沢市長町 3-1-57

〈通常非公開〉

※見学会などの開催は

市ホームページ等で告知



詳細はこちら

蓬萊島が浮かぶ池泉。  
岸边には往時の分流や舟溜まりの痕跡が残る



### 松風閣庭園 ↓

Shofukaku Garden

加賀前田家の重臣として禄高5万石を与えられた本多家が代々所有した庭園。江戸時代初期の作庭と伝えられ、豊かな自然林を背にした池泉にはかつて辰巳用水の分流が注いでいた。「金沢市指定名勝」

📍 金沢市本多町 3-2-11

〈一部区域のみ見学可〉

※雨天時・冬季は閉鎖

☎ 076122012469  
(金沢市文化財保護課)



詳細はこちら



ツツジ類が咲く築山の裾に沿って、曲水が穏やかに流れる

### 千田家庭園 ↑

Sendai-ke Garden

大野庄用水沿いの武家屋敷跡地に、明治27年(1894)から翌年にかけて整備された庭園。池に見立てた曲水を中心に構成し、座敷からの觀賞のほか、対岸の築山への回遊性を備える。「金沢市指定名勝」

📍 金沢市長町 1-4-22

☎ 0801873519695

(千田家庭園)



詳細はこちら

### 武家屋敷跡 野村家 ↓

Nonmura-ke Samurai Residence

庭園は昭和16年(1941)以降、御殿に相当する建物の移築を契機に順次整えられたものと考えられる。藩政期に屋敷を構えていた野村氏由来と伝わる古木を生かした、趣深い眺めが特徴。

📍 金沢市長町 1-3-32

☎ 076122113553

(武家屋敷跡 野村家)



詳細はこちら



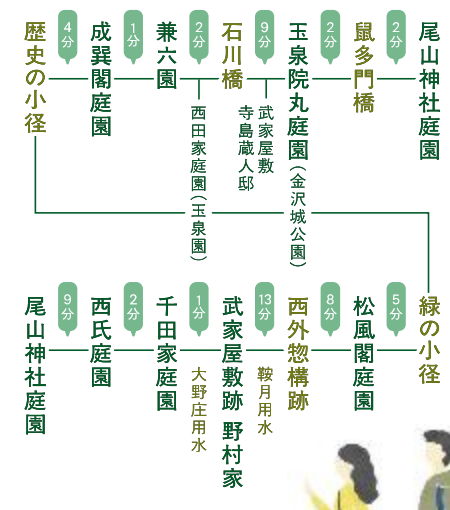
大野庄用水を引く池泉に配した沢飛石が、建物と庭の一体性を強調する

# 庭園回遊マップ

Kanazawa Garden Map



最大大名が築いた城下町の庭園回廊  
 金沢城公園の周囲には、藩主家の庭園をはじめ、  
 重臣の庭園、武家の庭園、寺社の庭園などが回廊  
 のように連なっています。



日本庭園の歴史は古く、今から千年以上もさかのぼることが  
できます。

加賀前田家の近世城下町都市として成立して以降、幸いに  
して戦禍に遭うことのなかった金沢では、武家社会の間に  
浸透した庭づくりの姿勢、庭に憩い、親しむ文化が連続と  
受け継がれてきました。

金沢城跡を中心に広がる市街地には、豊かな水環境や伝統  
文化を背景に生み出された歴史的な庭園が、今もなお多く  
残されています。

これらの庭園は、どれほど古い時代につくられていたとし  
ても、いまを生きる私たちとの関わりのおかげで存在してい  
ます。庭を大切に想い、手入れをし、様々に使うことで庭  
園は生き生きとその輝きを増していきます。

金沢の歴史・風土のなかで生まれ、育まれた金沢の庭園文化。

その多彩な魅力がひとりでも多くの方に伝わり、歴史ある  
庭園が守られ、また新たな庭園が生まれていく、そうした  
未来につながっていくことを願っています。



## 金沢市文化財保護課

〒920-8577 石川県金沢市広坂1丁目1番1号

MAIL. [bunkazai@city.kanazawa.lg.jp](mailto:bunkazai@city.kanazawa.lg.jp)

TEL. 076-220-2469 FAX. 076-224-5046

金沢の庭園文化  
動画はこちら



## 市長定例記者会見資料

## 金沢湯涌江戸村魅力発信動画の公開について

金沢湯涌江戸村の魅力を発信するPR動画を制作したので、公開します。

また、11月に供用開始を予定している管理棟では、本動画の放映や、建造物を解説する展示パネルを設置するなどガイダンス機能を充実させてまいります。

**1. 公開する動画**

- (1) 施設紹介 (1分38秒)  
建造物の特徴的な見どころを紹介
- (2) 移築プロセスの紹介 (1分5秒)  
旧平尾家移築時の作業記録を中心に、職人の作業工程を紹介
- (3) プロモーション (2分52秒)、(36秒)  
施設の体験コンテンツに加え、湯涌地区の四季折々の風景を紹介

**2. 公開日**

令和8年5月19日 (火) 15時 (金沢市公式YouTubeで配信)

**3. その他**

- ・金沢市役所庁舎前広場デジタルサイネージ (電光掲示板) で、プロモーション動画 (36秒) を放映予定。